

大阪府の農林水産業の概要

特徴・取組

大阪府は、日本のほぼ中央に位置し、北から南にかけて、やや湾曲しており、西は大阪湾に面し、他の三方は山に囲まれている。
気候は、年間通じて温和で、比較的雨が少ない。

大阪府経済の産業構造は、サービス業の充実した都市型と言え、産業構成比及び労働生産性が高い。特に情報通信業、卸業、小売業の労働生産性が高い。

大阪の農業は、農地の約3割が市街化区域内にあり、個々の経営面積が小さく多様な品目を集約的に生産する施設園芸などの農業経営が営まれ、消費者に新鮮な農産物を安定的に供給している。

特にしゅんぎく、こまつななどの軟弱野菜やぶどうなどの果樹の栽培が盛んである。

大阪の林業は、府内の健全に維持・保全された森林で産出した「おおさか材」や、北部の良質なクヌギを利用した「池田炭」などにより振興を図っている。

大阪の海面漁業は、主に湾内性の魚介類を対象とする典型的な沿岸漁業で、いわし類を中心に、しらす、したびらめ、くろだい、すずき、まあなごなどが漁獲されている。また、わかめなどの養殖も営まれている。

大阪農業の成長産業化に向け、農業経営者の経営能力の向上、新規就農者の確保育成を図るため、「経営コンサルプロジェクト」や「大阪産(もん)スタートアカデミー」などを実施している。

大阪府では、府内で採れた農林水産物とその加工品を「大阪産(もん)」として一体的にPRし、地産地消の推進およびブランド化に取り組んでいる。



大阪産(もん)ロゴマーク

主な農林水産物

しゅんぎく

関西では「きくな」と呼ばれ、主に泉州・中部地域で栽培している。なにわの冬の鍋物には欠かせない野菜である。(収穫量全国1位)



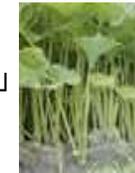
いちじく

いちじくは、水田転換園での栽培が多いが、この栽培方法を全国で最初に行ったのが大阪の農家である。



ふき

現在栽培されている品種の愛称は「のびすぎでんねん」歯ざわりがよいのが特徴である。(収穫量全国3位)



ぶどう

南河内・中部地域が主産地で府内では30種類を超える品種のぶどうを栽培し、直売・観光の活動が盛んである。(収穫量全国7位)



みつば

大阪では、明治時代から栽培がはじまり、現在では、貝塚市を中心に水耕栽培で周年出荷が行われている。(収穫量全国7位)



こまつな

大阪全域で栽培され、冬場用の品種と夏場用の品種を使い分けることにより一年中収穫されている。(収穫量全国9位)



なす

中長なすの「千両なす」や水なすを栽培している。泉州地域特産品の「泉州水なす」は地理的表示保護制度(GI)の登録産品である。



キャベツ

泉州地域で栽培が盛んで、冬キャベツと呼ばれる「泉州キャベツ」は、大阪の代表的な味であるお好み焼きには欠かせない材料である。



たまねぎ

泉州は、日本のたまねぎの栽培の発祥地で、「泉州たまねぎ」として栽培が盛んである。



しらす

船びき網漁業により漁獲されるいわししらすは、水揚げ後すぐに加工され、品質が高い。近年、生しらすとしても販売されている。



大阪府内の各地域における農林水産物

北部地域

【農畜産物】 水稻、トマト、赤しそ、くり、なにわの伝統野菜（服部越瓜（はっとりしろり）、吹田慈姑（すいたくわい）、三島独活（みしまうど）、鳥飼茄子（とりかいなす））、ゆず、いちご、花壇苗、植木、肉用牛、鶏卵、蜂蜜

【林産物】 たけのこ、しいたけ、池田炭（木炭）

泉州（せんしゅう）地域

【農畜産物】 泉州水なす、泉州たまねぎ、なにわの伝統野菜（馬場なす（ばばなす）、貝塚澤茄子（かいづかさわなす）泉州黄玉葱（せんしゅうきたまねぎ））、泉州キャベツ、しゅんぎく、こまつな、ねぎ、さといも、ふき、みずな、みつば、紅ずいき、みかん、もも、イチジク、トマト、切花、生乳、肉用牛、豚、鶏卵、蜂蜜

【林産物】 たけのこ、しいたけ、おおさか材（大阪府が認定した林業活動促進地区で生産された木材について、府に登録された認定事業者が証明した木材）

【水産物】 泉だこ、魚庭（なにわ）あこう（きじはた）（一定の基準を満たすきじはたを「魚庭あこう」と名付けブランド化）、しらす、まいわし、すずき、したびらめ、くろだい、さわら、はも、まあなご、ひらめ、あかがい、かき（養殖）、わかめ（養殖）

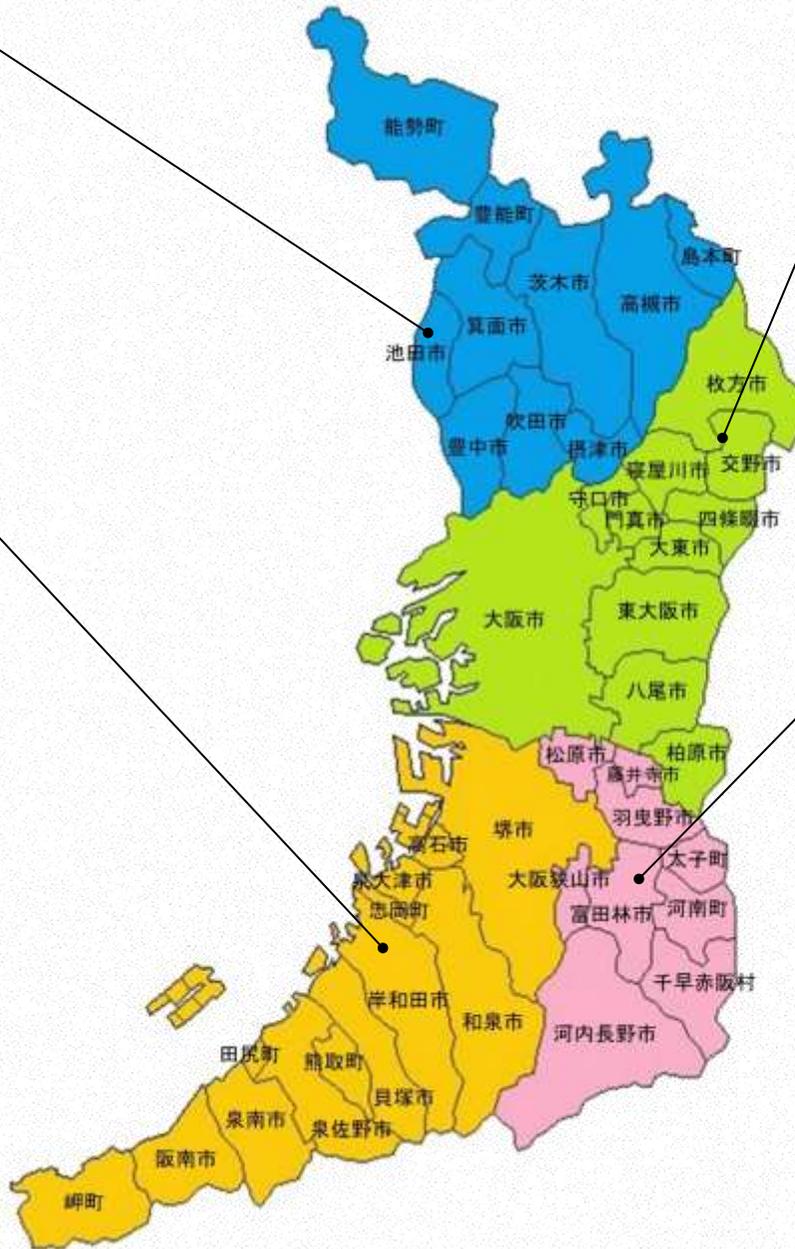
中部地域

【農畜産物】 八尾若ごぼう（葉、軸（茎）、根の全てを食べることができる葉ごぼう）、しゅんぎく、えだまめ、なにわの伝統野菜（大阪黒菜（おおさかくるな）、難波葱（なんばねぎ）、守口大根（もりぐちだいこん）、天王寺蕪（てんのうじかぶら）、田辺大根（たなべだいこん）、金時人参（きんときにんじん）、河内れんこん）、こまつな、れんこん、みずな、おおば、紅たで、ぶどう、切花、花壇苗、豚、蜂蜜

南河内（みなみかわち）地域

【農畜産物】 なす、きゅうり、紅ずいき、ねぎ、こまつな、なにわの伝統野菜（碓井豌豆（うすいえんどう）、難波葱（なんばねぎ）、海老芋（えびいも））いちご、ぶどう、みかん、イチジク、もも、植木、合鴨、鶏卵、蜂蜜

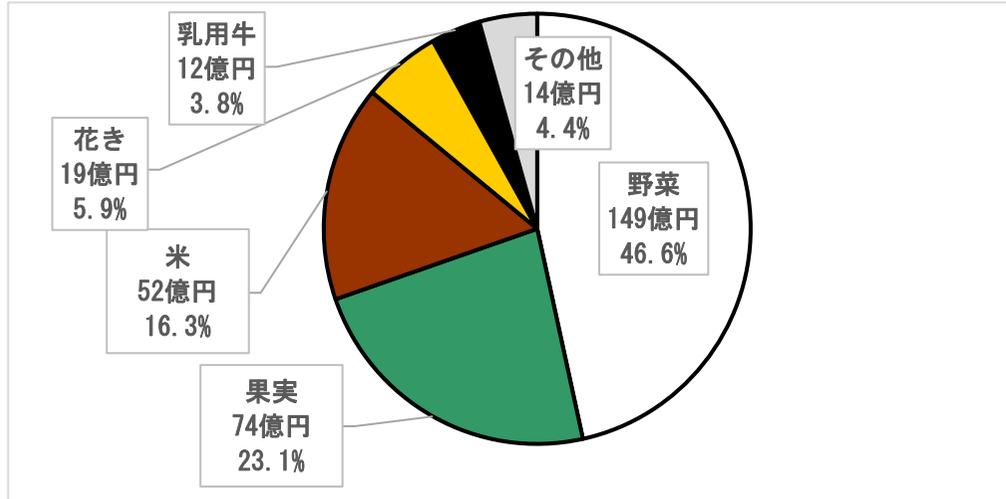
【林産物】 おおさか材（大阪府が認定した林業活動促進地区で生産された木材について、府に登録された認定事業者が証明した木材）



大阪府の農業（1）

- ・農業産出額は320億円で全国46位。うち米が52億円（16.3%）、野菜が149億円（46.6%）、畜産が18億円（5.6%）。
- ・農畜産物の生産状況は、しゅんぎくが全国1位、ふきが3位、みつば、みずな、ぶどうが7位、こまつなが9位。

農業産出額の概略



農畜産物の生産状況

区分	年次	大阪府	全国	全国順位
しゅんぎく	収穫量	R5 3,180 t	24,600 t	1
ふき	収穫量	R5 759 t	6,960 t	3
みつば	収穫量	R5 559 t	13,100 t	7
みずな	収穫量	R5 943 t	36,100 t	7
こまつな	収穫量	R5 3,460 t	120,900 t	9
なす	収穫量	R5 5,590 t	288,800 t	13
たまねぎ	収穫量	R5 3,520 t	1,174,000 t	22
キャベツ	収穫量	R5 8,640 t	1,434,000 t	25
ぶどう	収穫量	R6 3,340 t	164,600 t	7
みかん	収穫量	R5 11,500 t	681,600 t	13

出典：「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」

農業産出額のデータ

区分	大阪府の農業産出額	全国の農業総産出額	全国順位
農業産出額	320 億円 (100.0)	94,952 億円 (100.0)	46
米	52 億円 (16.3)	15,193 億円 (16.0)	44
麦類	x 億円	678 億円	- *
雑穀	0 億円	77 億円	44
豆類	0 億円	572 億円	46
いも類	4 億円	2,301 億円	39
野菜	149 億円 (46.6)	23,243 億円 (24.5)	37
果実	74 億円 (23.1)	9,590 億円 (10.1)	31
花き	19 億円	3,522 億円	41
工芸農作物	0 億円	1,467 億円	47
その他作物	x 億円	585 億円	- *
畜産	18 億円 (5.6)	37,212 億円 (39.2)	46
肉用牛	3 億円	7,696 億円	46
乳用牛	12 億円	9,249 億円	44
生乳	12 億円	8,310 億円	44
豚	2 億円	7,194 億円	43
鶏	1 億円	12,033 億円	47
鶏卵	1 億円	7,413 億円	47
ブロイラー	- 億円	4,471 億円	- *
その他畜産物	- 億円	1,041 億円	-
加工農産物	- 億円	513 億円	-

出典：「令和5年農業総産出額及び生産農業所得(全国)」、「令和5年農業産出額及び生産農業所得(都道府県別)」
注：() は農業総産出額及び農業産出額を100%とした割合である。

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方

・令和7年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用

・表中に使用した記号は次のとおり

「O」：単位に満たないもの(例:0.4t→0t)

「-」：事実のないもの

「…」：調査を欠くもの

「x」：秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。

「*」：秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順位

大阪府の農業（2）

- ・耕地面積は1万1,900haで全国46位。うち田が8,200ha、畑が3,690ha。
- ・農業経営体数は7,673経営体で全国46位。うち法人経営体が97経営体で46位。
- ・市町村認定及び都道府県認定経営体数は865経営体で全国47位。うち法人数が67法人で46位。
- ・農業生産関連事業は、観光農園の年間販売（売上）金額が6億円で全国22位、経営体数は60経営体で21位。

耕地面積

区分	大阪府	全国	全国順位
耕地面積	11,900 ha	4,272,000 ha	46
田	8,200 ha	2,319,000 ha	43
畑	3,690 ha	1,952,000 ha	44
普通畑	1,830 ha	1,118,000 ha	46
樹園地	1,850 ha	248,600 ha	38
牧草地	- ha	585,900 ha	-
参考) 総土地面積	1,905.34 km ²	377,975.68 km ²	46

出典：「令和6年耕地面積(7月15日現在)」、「令和7年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)」(国土交通省国土地理院)

荒廃農地面積

区分	大阪府	全国	全国順位
荒廃農地面積	355 ha	256,676 ha	46

出典：「令和5年度の荒廃農地面積(令和6年3月31日現在)」

農業経営体数、総農家数及び集落営農数

区分	大阪府	全国	全国順位
農業経営体数	7,673 経営体	1,075,705 経営体	46
法人経営体	97 経営体	30,707 経営体	46
総農家数	20,813 戸	1,747,079 戸	40
販売農家	7,413 戸	1,027,892 戸	46
参考) 世帯総数	4,135,879 世帯	55,830,154 世帯	3
集落営農数	8 集落営農	13,998 集落営農	42

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「令和6年集落営農実態調査結果(令和6年2月1日現在)」

担い手への農地の集積状況

区分	大阪府	全国	全国順位
担い手への集積面積	1,591 ha	2,593,345 ha	47
集積率	13.3 %	60.4 %	47

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和5年度版)」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区分	大阪府	全国	全国順位
基幹的農業従事者数	8,326 人	1,363,038 人	46
男	5,562 人	822,144 人	46
女	2,764 人	540,894 人	47
65歳以上	6,130 人	948,621 人	46
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	73.6 %	69.6 %	-
国、市町村認定及び都道府県認定経営体数	865 経営体	216,784 経営体	47
法人数	67 法人	29,128 法人	46
参考) 人口総数	8,837,685 人	126,146,099 人	3

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和6年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

農業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区分	大阪府	全国	全国順位	
農産加工	総額	1,568 百万円	999,786 百万円	47
	事業体数	140 事業体	27,760 事業体	46
農産物直売所	総額	18,230 百万円	1,126,420 百万円	26
	事業体数	250 事業体	21,240 事業体	35
観光農園	総額	603 百万円	37,281 百万円	22
	経営体数	60 経営体	5,050 経営体	21
農家民宿	総額	72 百万円	5,352 百万円	19 *
	経営体数	0 経営体	1,140 経営体	42
農家レストラン	総額	380 百万円	39,434 百万円	37 *
	事業体数	20 事業体	1,360 事業体	21

出典：「令和5年度6次産業化総合調査結果」

大 阪 府 の 林 業

- ・ 林業産出額は4.3億円で全国47位。うち木材生産が2.1億円、栽培きのこ類生産が2.1億円。
- ・ 林産物の生産状況は、素材生産量が全国44位、乾しいたけが全国24位、広葉樹が29位、ひのきが31位。

林業産出額

区 分	大 阪 府	全 国	全国順位
林業産出額	4.3 億円	5,562.5 億円	47
木材生産	2.1 億円	3,257.0 億円	44
栽培きのこ類生産	2.1 億円	2,199.2 億円	44

出典：「令和5年林業産出額」

林産物の生産状況

区 分	大 阪 府	全 国	全国順位
素材生産量	27 千m ³	20,647 千m ³	44
針葉樹	18 千m ³	18,926 千m ³	41 *
すぎ	8 千m ³	11,917 千m ³	44
ひのき	7 千m ³	3,180 千m ³	31 *
広葉樹	9 千m ³	1,721 千m ³	29 *
乾しいたけ	生産量 7 t	1,816 t	24
たけのこ	生産量 16 t	16,528 t	33 *

出典：「令和5年木材統計」、「令和5年特用林産基礎資料」

林野面積

区 分	大 阪 府	全 国	全国順位
林野面積	57,127 ha	24,770,201 ha	47
国有林	1,243 ha	7,153,338 ha	47
民有林	55,884 ha	17,616,863 ha	47
人工林面積	27,636 ha	10,133,111 ha	45

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

製材工場数

区 分	大 阪 府	全 国	全国順位
製材工場数	32 工場	3,749 工場	42
製材用素材の入荷があった工場数	28 工場	3,722 工場	42
国産材のみ	21 工場	3,116 工場	42
国産材と輸入材	5 工場	511 工場	31

出典：「令和5年木材統計」

林業経営体数

区 分	大 阪 府	全 国	全国順位
林業経営体数	128 経営体	34,001 経営体	45
法人経営体	21 経営体	4,093 経営体	43

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

大 阪 府 の 漁 業

- ・ 漁業産出額のうち、海面漁業・養殖業産出額は62億円で全国36位。
- ・ 水産物の生産状況は、海面漁業のしらすが全国2位、くろだいが3位、海面養殖業のわかめ類、生のり類が9位。
- ・ 漁業生産関連事業は、漁家レストランの年間販売（売上）金額が2億円で全国19位、事業体数は10事業体で8位。

漁業産出額

区 分	大 阪 府	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	62 億円	15,265 億円	36
海 面 漁 業	61 億円	9,534 億円	31
海 面 養 殖 業	1 億円	5,731 億円	33

出典：「令和5年漁業産出額」

漁業経営体数

区 分	大 阪 府	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	480 経営体	65,662 経営体	33
内水面漁業経営体数	12 経営体	4,076 経営体	44

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁業就業者数

区 分	大 阪 府	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	785 人	121,389 人	36
男	751 人	109,757 人	36
女	34 人	11,632 人	32

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁船隻数

区 分	大 阪 府	全 国	全国順位
漁船隻数	731 隻	109,283 隻	32
動力漁船	654 隻	58,906 隻	28

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

水産物の生産状況

区 分	大 阪 府	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	15,149 t	3,777,921 t	33 *
海面漁業漁獲量	14,738 t	2,926,411 t	28
しらす	5,299 t	50,303 t	2
くろだい	183 t	2,106 t	3
海面養殖業収穫量	411 t	851,509 t	32 *
わかめ類	286 t	49,588 t	9 *
生のり類	7 t	1,714 t	9 *
内水面漁業・養殖業生産量	x t	51,908 t	- *
内水面漁業漁獲量	- t	21,567 t	- *
内水面養殖業収穫量	x t	30,341 t	- *

出典：「令和5年漁業・養殖業生産統計」

漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	大 阪 府	全 国	全国順位	
水産加工	総額	372 百万円	179,159 百万円	33 *
	事業体数	10 事業体	1,220 事業体	25
水産物直売所	総額	514 百万円	34,988 百万円	22 *
	事業体数	10 事業体	810 事業体	20
漁家民宿	総額	- 百万円	5,389 百万円	- *
	経営体数	- 経営体	540 経営体	-
漁家レストラン	総額	176 百万円	13,249 百万円	19 *
	事業体数	10 事業体	380 事業体	8

出典：「令和5年度6次産業化総合調査結果」

大阪府の農林水産業の話題等（1）

「Osaka AGreen Action（おおさかアグリーンアクション）」の取組

大阪府では、地球温暖化を防止するため、2050年に二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする、カーボンニュートラルに向けて取り組んでいる。

「農」分野においても、脱炭素社会の実現をめざし、適切な地球環境を次世代につなぐため、一人ひとりの生活に直結する「食」とそれを支える「農とみどり」といった身近な場面で、今すぐできる行動に、生産者・事業者・消費者等が一体的に取り組むことを「Osaka AGreen Action（おおさかアグリーンアクション）」と名付け、その趣旨に賛同してくださる事業者や生産者等のパートナーズメンバーとともに、その取組を推進している。

※Osaka AGreen Actionは農業の「Agriculture（アグリカルチャー）」とみどりの「Green（グリーン）」を組み合わせた言葉である。



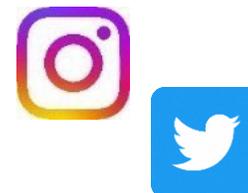
Osaka AGreen Action取組例



ロゴマーク

・統一ロゴやPRグッズを活用したイベントでのPR

大阪産（もん）の脱炭素マーク



・SNSでの発信
・CFP（カーボンフットプリント）の取組推進



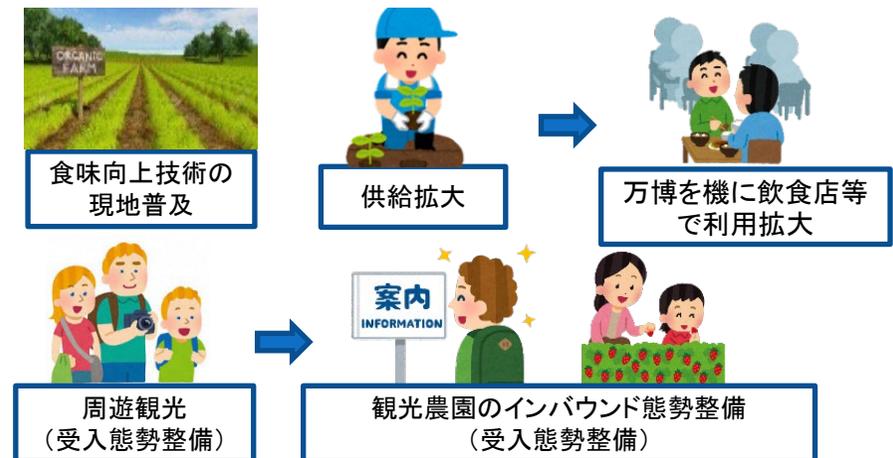
パートナーズメンバーによるイベントでのPR

大阪府の農林水産業の話題等（2）

「2025年大阪・関西万博」のインパクトを活かした大阪産（もん）の魅力向上の取組

2025大阪・関西万博では、府内外から多数の来場者が見込まれるため、大阪・関西の多様な地域資源を活かした周遊観光につなげていくこととしている。中でも、「食」は、観光に占めるウェイトが大きな地域資源であり、大阪産農産物の魅力を高め、万博会場をはじめ府内の飲食店等での利用を促進することで需要の拡大につなげる。

- 高付加価値農産物の供給体制の整備
 - ・実証済栽培技術の導入に向け研修会を実施し、技術普及により供給量確保の体制整備を進める。
- 高付加価値農産物の利用促進と拡大
 - ・しゅんぎくやぶどう等の総合的な付加価値について、万博会場内外でPRし利用促進を図る。
- 需要拡大に向けた観光農園の態勢整備支援と周遊ツアーにおける農業コンテンツ導入促進
 - ・万博を契機とするインバウンドに対し、府内周遊促進のためWebサイト等の多言語化、ホスピタリティ研修、キャッシュレス導入などの受入態勢を支援するとともに、新たなコト消費創出に向け旅行社等向け情報発信を強化する。



魅力向上に取り組む大阪産（もん）例：えだまめ、しゅんぎく、ぶどう